

適合証明規格運用連絡会



適合証明プログラム文書改定

2022/6/10



適合証明プログラム普及を支える特徴

- 監査中に指導や助言することができる
- 監査会社はコンサルテーションも提供可能



健全に維持するキーポイント

- 監査の独立性・公平性
- 監査・判定員の力量

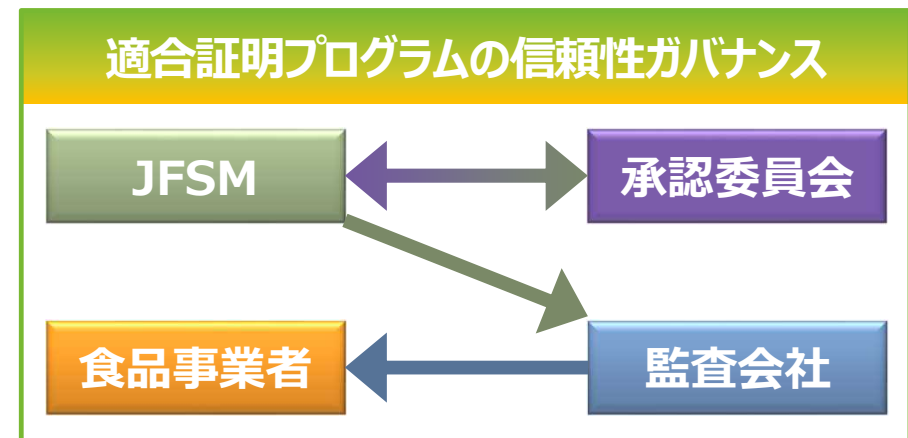


JFSMによるインテグリティプログラム

- 監査会社の初回登録審査（適格性・システム）
- 年一回の定期事務所審査
- 承認委員会外部委員への諮問
- 監査員・判定員の実績・力量モニタリング
- 力量維持研修・試験・フォローアップ研修

背景

※JFS-A/B規格の要求事項（組織向け）はVer. 3.0にバージョンアップ。必要な個所はこれに合わせていく。（セクターコード、HACCPに関する記載、用語の定義など）



必要なインテグリティを確保するため改版
⇒健全成長

プログラム要求事項策定作業部会発足

<役割>

プログラム文書の改版における事務局からのドラフト文書案への助言ならびに修正書面策定

<構成メンバー>

監査会社代表者（2名）

株式会社BMLフード・サイエンス 安藤大輔様
株式会社グローバルテクノ 萬木智様

認定審査有識者（1名）

中井技術研究所・JAB認定審査員 中井利雄様

認証審査有識者（1名）

日本検査キューエイ株式会社 勝俣宏行様

プログラムオーナー経験者（1名）

JFSM元事務局長・JFSM外部審査員 亀山嘉和様

<実施状況>

4月より、月1回・半日/1回 開催中。
改定案の策定を進めている。

<監査会社代表者様選出>

- ① 2021年ハーモナイゼーション会議での提案
- ② 選定方法の賛否⇒承認
- ③ 立候補者公募⇒3名応募
- ④ 全監査会社への信任投票案内
⇒上位2名信任
- ⑤ 委嘱プロセス
- ⑥ 部会メンバー確定と作業部会開始



**監査会社様のご意見を
より反映できる体制に！**

jfsm 現在の適合証明プログラムの課題と方針案（抜粋）

課題	方針案
コンサルティングと監査の独立性 公平性の担保	プログラム文書の改定だけで解決はできない。 何がコンサルに該当するのか、問題となる可能性があるのか等具体的事例をお示しし標準化を図りたい。
業務の委託	監査会社から監査会社への委託の形について明記を検討。
監査員・判定員の力量維持	監査員・判定員試験を要件として明記。 登録後継続的な力量評価の要件がないため方法を検討。
内部監査、マネジメントレビューの実施	現状の要求は実施することのみ。監査・適合証明業務を適切に進めていただけるよう、内部監査・マネジメントレビューを実施いただくための最低限の基準をお示ししたい。
工数計算（HACCPプランの考え方）	プログラム文書上の定義はcodex HACCPに従っており問題はない。監査会社の皆様にご説明、認識の共通化を図っていく方向で考えている。
リモート監査	※次のセッションで説明

現状の案です。議論の結果異なる方向性になる可能性がございます。また、改訂点は上記以外にもございます。

改定スケジュール案

ハーモナイゼーション会議等で
事前にご説明・ご意見いただく

	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
プログラム文書Ver. 3.0案の作成	→	→	→	→	→	→	☆		
パブリックコメント募集					→	☆			
ステークホルダー委員会 諮問							☆		
プログラム文書Ver. 3.0理 事会承認								☆	
関連規程・手順書改定及 び承認 ※事務局にて案作成⇒作 業部会議論		→	→	→	→	→	☆		
移行通知策定及び英語翻 訳								→	→ ?

改定スケジュール案

ハーモナイゼーション会議等で
事前にご説明・ご意見いただく

	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
プログラム文書Ver. 3.0案の作成	→	→	→	→	→	→	☆		
パブリックコメント募集					→	☆			
ステークホルダー等 の諮問	<div>※移行については、スケジュールを検討の上、発行前にお示しします。</div>								
プログラム文書Ver. 3.0案 の承認									
関連規程・手順書改定及び承認 ※事務局にて案作成⇒作業部会議論		→	→	→	→	→	☆		
移行通知策定及び英語翻訳								→	→ ?

御協力の程よろしくお願い致します。

